

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-41	小学校	家庭	家庭	第5・6学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
9 開隆堂	家庭 502	わたしたちの家庭科 5・6		

1 編集の方針

「家庭科」では、一人ひとりの子どもたちが体験や実践を通して、できることを増やし、生活を工夫し、よりよい家庭生活につなぐことができることを目指します。

これからの社会の変化や科学技術の進展の中で主体的に生きていくためには、「自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り拓いていく力を身に付けること」が重要とされています。

そして、これからの社会を生き抜くためには、既存の知識や技能、価値観を基にしながら、さまざまな課題に正対し、乗り越えるための知恵を導き出さなければなりません。

このさまざまな課題に挑んでいく力が、よりよい自己の形成やよりよい社会づくりへと向かうためには、教科の本質を活かし、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせながら、問題解決能力を育成する必要があります。

本教科書では、教育基本法の目標を効果的に達成できるように、以下の方針のもとに編修しました。

編集方針

1

自分や家族の「生活」を見つめ直し、生活をよりよくしていく

ストーリー性のある教科書

編集方針

2

「生活」から課題を発見し、解決するための

見方・考え方が身につく教科書

編集方針

3

主体的に考え、生活を工夫するための、

問題解決型学習を充実させた教科書

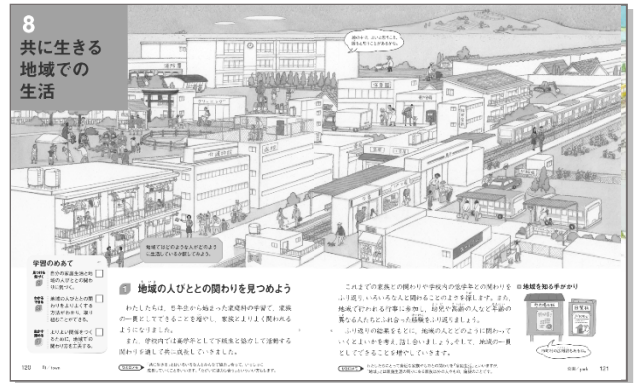
自分や家族の「生活」を見つめ直し、生活をよりよくしていく

ストーリー性のある教科書

1 主人公は小学生。身近な生活から課題をみつけていきます。

教科書全体を通して、2人の小学生が学習のガイド役をしています。共通の「家族」「地域」を設定して、誰もが主人公として学習できるようにしています。

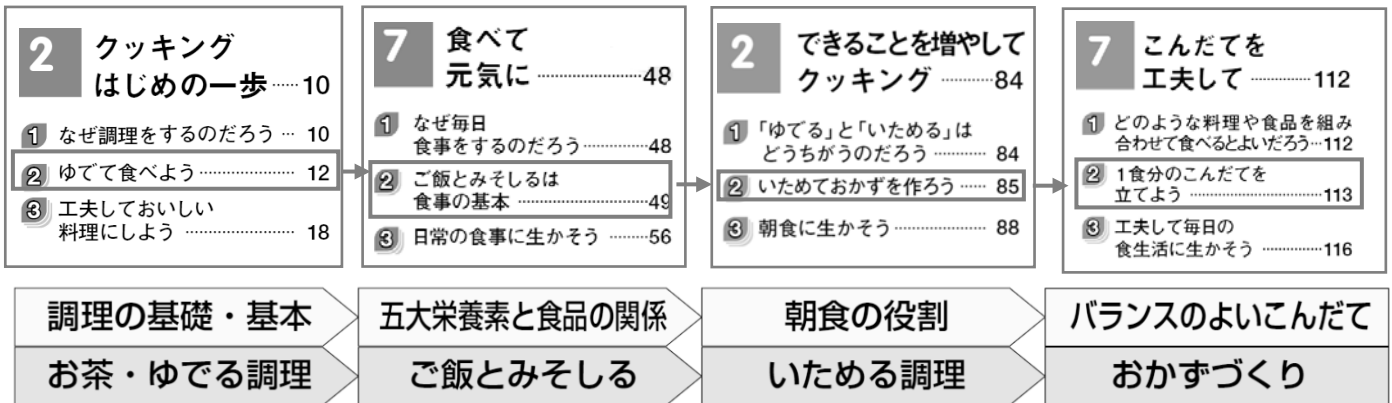
主人公の生活を見て、それぞれの児童の経験を踏まえた、気づきや思考を引き出すことができます。



扉イラストでは主人公がどこかで活躍しています。

2 基礎・基本が身につけられるよう、系統的な配列にしています。

小さいものから大きなものへ、平易なものから難しいものへと学習が系統的にできるよう、配列を工夫しています。初めて家庭科を学ぶ5学年は、基礎・基本がしっかり身に付くように、題材を細かく構成・配列し、スモールステップで学習が積み上げられるようにしています。続く6学年は、5学年での基礎・基本をもとに、計画的に工夫し、応用させながら生活に生かしていく力が身につくようにしています。



3 時期や季節に応じたタイムリーな題材。

季節感や学校行事を考慮した題材の設定と配列をしています。たとえば、衣生活・住生活の学習は時期や季節を考えて題材構成をし、2学年間にわたって段階的かつスパイラルに対比しながら学べます。



▲5年生標準（冬季）
◀6年生標準（夏季）

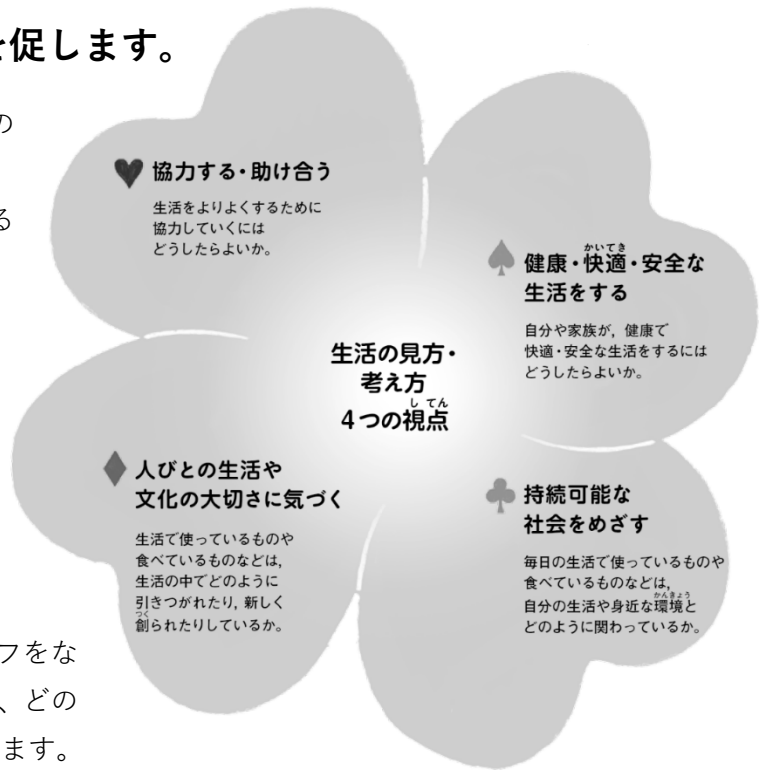
「生活」から課題を発見し、解決するための 見方・考え方が身につく教科書

1 見方・考え方を意識した学習を促します。

ガイダンスで家庭科の学習に取り組む4つの視点について、わかりやすく紹介しています。

もくじと合わせて、これらの視点を紹介することで、学習に見通しをもつことができます。

※この教科書では、「生活の営みに係る見方・考え方」の4つの視点のイメージを右のようなマークで示しています。



2 繰り返しで効果を高めます。

各題材の中でも、4つの視点に関連したセリフをなげかけるキャラクターが登場し、その題材では、どの視点が重視されているかがわかるようにしています。



3 見方・考え方を生活に生かすヒントを示しています。

家庭科での視点を生活にさらに生かすために、各教科との関連を示し、また、家庭生活の題材では、実践のためのヒントを4つの視点で示しています。

これまでの学習から考える、家庭の仕事に取り組む4つの視点

- 協力・助け合い**
・食事のしたくて食器を出してテーブルにならべる。
- 健康・快適・安全**
・使った用具はもとの場所にもどす。
- 生活文化**
・家族みんなでお茶をいれていただく。
- 持続可能な社会**
・できるだけごみを出さないように調理する。

他教科での見方・考え方も思い起こせるよう、関連資料やマークを充実。

◀家庭や地域の題材では、4つの視点を生かした例を掲載。



主体的に考え、生活を工夫するための、 問題解決型学習を充実させた教科書

1 各題材は全て問題解決のプロセスに沿った3つの小題材で構成。

問題解決型学習を実現するために、各題材は3つの小題材で構成し、それらを問題解決のプロセスに対応させた形にしました。

1 見つける・気づく

小題材1は「見つける・気づく」とし、題材で扱う学習内容に関連した課題を、扉の写真から見つけ、気づけるようにしています。

2 わかる・できる

小題材2は「わかる・できる」とし、課題解決のための基礎的・基本的な知識・技能を、実際に実習などを通して習得します。

3 生かす・深める

小題材3は「生かす・深める」とし、学習や実習をしてみて、わかったことやできるようになったことをまとめ、話し合ったり発表したりします。そして、新しい課題にも取り組めるようにします。

2 充実したアクティブ・ラーニングのために—多様な活動例。

児童が主体的に問題の解決に取り組んで、生き活きとした授業が実現するように、対話と学び合いのある、体験的な活動（課題）を多数掲載しました。

▼野外活動に合う着方を考えてみよう

▼発表しよう

友だちの工夫からも学び、さらに自分の考えを深めよう。

Q やってみよう

湯とだしは、それぞれにみそを加えて、飲み比べてみよう。

だしの材料は、煮干し、ごんぶ、かつおぶし、干しいたけなど、身近にあるものを使うとよい。

(写真はごんぶを使った例。湯200mLに、みそ20gを溶いたものと、だしじる200mLにみそ20gを溶いたものを準備した例)

味やかおりは、どうちがうかな。

だしの材料も、味わってみるといいね。

話し合おう

右の部屋で快適に過ごすために、どのように整理・整頓をすればよいだろうか。

①～⑥の場所の問題点や困ることは何だろうか。また、その理由は何だろうか。

問題点	理由
①: 机の上が散らかっている。	物を探すのに時間がかかる。

さらに、各学期の終わりには「チャレンジコーナー」を設け、学んだことを家庭実践につなげられるように製作例や調理例などを豊富に掲載。新設の「生活の課題と実践」では、家庭や地域、学校での実践など複数の課題例を掲載し、選んで実践できるようにしました。

生活の課題と実践▶

▼チャレンジコーナー

課題例 1 わたしの仕事 スペシャルデイ ～家族のために～

家庭で実践しよう

例1 ミシンぬい手ぬいで、家族や自分のものを作ろう

読者が好きなお気に入りのブックカバー

これはすでに学んだことを活かして、「お気に入りのブックカバー」を作ってみよう。お気に入りのブックカバーを作ると、お気に入りの本が大切に使えるよ。

①お気に入りの本を選び、表紙と裏紙をぬい手ぬいでぬいよう。

②お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

③お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

④お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑤お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑥お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑦お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑧お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑨お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑩お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑪お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑫お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑬お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑭お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑮お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑯お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑰お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑱お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑲お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

⑳お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉑お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉒お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉓お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉔お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉕お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉖お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉗お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉘お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉙お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉚お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉛お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉜お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉝お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉞お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㉟お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊱お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊲お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊳お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊴お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊵お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊶お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊷お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊸お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊹お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊺お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊻お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊼お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊽お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊾お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

㊿お気に入りの布を選び、ぬい手ぬいでぬいよう。

2 対照表

教育基本法第2条の目標の達成のために、以下の点で特に編修に意を用いました。

構成・内容		特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当箇所
本文	共通事項	知識や技能の確実な習得のために、基礎・基本を重視し、段階的な題材を設定しました。	第1号	全般
本文	共通事項	日常生活の中でなぜそうするのか、という問いかけを設定し、生活を科学的にみて、真理を探究する態度を養うことをめざしました。	第1号	全般
本文	家族の生活再発見 できるよ、家庭の仕事 いっしょにほっとタイム 生活を支えるお金と物	家庭生活に関する家庭や家族の大切さを、消費生活に関する題材では働いて収入を得ることの大切さを記述し、家庭実践に結びつくようにした。	第2号	8,9,34~36.72~75, 58,59頁
本文	製作・実習 チャレンジ コーナー	製作や実習では、児童の意欲を尊重し、つくりたいものを考えることを促しています。さらに、長期休みには児童が課題をきめて家庭実践ができるようにチャレンジコーナーを設けています。	第2号	19,22,25,26,44~47 頁など 37,57,75,103,119頁
本文	キャリア教育 のコラム	職業観を養い、社会に目を向けられるよう、実際に働いている方からのメッセージを各所に入れていきます。	第2号	43,61,74,103,123頁
本文	共に生きる地域での生活	地域の人がとともに協力して生活することについて記述しました。	第3号	120~123頁
本文	共通事項	写真やイラスト等にも配慮し、実習などを通して、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。	第3号	全般
本文	整理・整とんで快適に 持続可能な社会を生きる	自然を大切に、環境を保全することの大切さに気付くことができるように、2つの題材を配置しました。 持続可能な社会の構築の視点から、教科書全体にわたって環境マークや、キャラクターによる環境の視点を入れ、環境保全に寄与する態度を身につけることを目指しています。	第4号	32,33,124,125頁 13,14,17,87,103頁など
本文 特設頁	食べて元気に わたしたちの生活の中 にある伝統文化など	和食や郷土料理、伝統的な民家や、和服などを取り上げ、また日本各地の伝統文化の事例を充実させ、我が国の独自の文化と先人の工夫に気づき、愛着をもつとともに、日本人としての誇りが育まれるようにしました。	第5号	49~53, 57,68,94, 95頁など
本文	共に生きる地域での生活 生活の課題と実践など	人とのふれ合いやかかわりを通して、感謝の気持ちを表したり、世代の異なる人や他国の人などを尊重したりする大切さがわかるようにした。	第5号	76~79,120~123頁

3 上記以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育、カラーユニバーサルデザイン、人権教育の観点で十分な配慮をしました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-41	小学校	家庭	家庭	第5・6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	家庭 502	わたしたちの家庭科 5・6		


1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色
1

授業の進め方が「見える化」した教科書

学習のイメージがもてるよう、紙面をわかりやすく構成しています。

2 クッキング はじめの一步



はじめて調理実習をするよ。このようにことに気をつけるよかな。写真は写っているところかな。

もろもろ入れていかな。

熱いから気をつけてね。

扉の大きな写真やイラストから、この題材での「課題」に気付けるようにしています。

② 調理に必要な用具を知ろう → 138ページ「調理材料の用語 調理ではどういうの？」

<p>ほかる</p> <p>計量スプーン 上部回転ばかり (イジメみ杓)</p> <p>すけ回し</p> <p>計量カップ</p> <p>加熱する</p> <p>両手鍋</p> <p>交じり棒</p>	<p>洗う、ふく、かわかす</p> <p>洗いおけ</p> <p>水切りゆこ</p> <p>洗う、ふく、かわかす</p> <p>スポンジたわし</p> <p>ざる</p> <p>ふきん</p>	<p>切る、むく</p> <p>包丁、まな板</p> <p>ピーラー (皮むき)</p> <p>煮こめ</p>	<p>蒸せる、煮る、盛りつける</p> <p>フライ返し</p> <p>しゃもじ</p> <p>蒸し</p> <p>蒸ししゃもじ</p> <p>煮る</p>
--	--	---	--

🚰 手洗いの仕方

石けんをつけてよくあみ立てる → 手のひら、指の間、親指、手背 → 水でよく洗い流す。きれいなタオルなどでふく乾かす。

学習のめあて

- 調理することのよさを覚える。
- 調理の手順を知って、清潔やいもをゆでることができる。
- ゆでる調理を生かして、調理することができる。

1 なぜ調理をするのだろう

わたしたちは、毎日食事をしています。食事を作ることを調理といいます。

調理をすることでどのようなよいことがあるのでしょうか。食品を洗う、切る、熱を加える、味をつけるなどの調理によって、安全で衛生的な、食べやすい食事ができます。自分で食事の用意ができるようになるために、調理に必要な手順や用具を見

小題材に対応した学習のめあてで、この題材で学ぶ内容がわかります。

各種のマークは、その学習で特に留意することを示しています。



実習ページなど、プロセスが大事な内容は、横流れのレイアウトを統一して採用しています。プロセスの中の写真や図版を大きく示すことで、実習のイメージも持ちやすくなります。

特色
2

特設ページや資料の充実

巻末の資料やデジタルコンテンツを活用することで、より効果的な授業をすることができます。



実習計画をプログラミング学習と関連させるための特設ページ。

QRマークがついている内容には動画等のデジタルコンテンツを用意しています。



基礎基本の写真を左ききも含め大きく掲載した特設ページ。

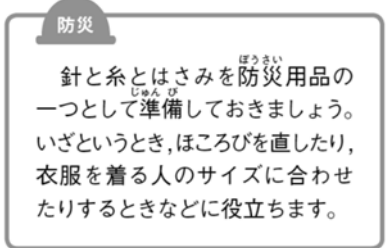
特色
3

安全・衛生・防災への配慮

安全・衛生・防災について、学習中の不慮の事故がないようにするとともに、いざというときの行動の基になる主体的な判断力と協力する態度を育めるようにしています。

家庭科での安全・防災について、基本的事項を、冒頭の頁にまとめています。

本文の中で、安全学習や防災に関連できる内容には、マークを付しています。



特色
4

伝統文化の充実

伝統的な生活文化に関連する学習項目には、「伝統」マークをつけています。
また特設ページや、チャレンジコーナーで日本の伝統文化を多数紹介しています。

衣食住など生活に関する伝統文化は特設ページにまとめています。

本文中でも、各地域に伝わる郷土料理などの文化を資料として掲載しています。

特色
5

キャリア教育との関連

これからの自分を考える上で大事な「キャリア教育」についても、多く掲載しています。

職業だけでなく、人生の先輩からさまざまなメッセージを掲載。これからの生き方を考えられます。

学習した基礎技能が職業につながっている事例を紹介。児童の意欲を高めます。

障害者スポーツ

かかわる人

ブラインドサッカー協会会長、元サッカー日本代表
きたむつ つよし
北澤 豪 さん

パラリンピック競技の一つである、ブラインドサッカーの普及に努めています。僕はプロのサッカー選手をしていましたが、ブラインドサッカーに関わってみて、コミュニケーションの大切さをいっそう感じるようになりました。この競技はプレイヤーがアイマスクをつけるので、おたがいに声を掛け合わなければ、どう動けばよいのかもわかりません。見えていない相手にわかりやすいよう指示を出すのは、難しいことなんです。でも、子どもたちは、障がい者も健常者も関係なく、すぐに打ち解けてゲームに夢中になるようです。ブラインドサッカーを体験した子どもたちは、アイマスクを外した後も、相手のことを気にかけてみたり、関わり方を考えてみたり、もの見方にも変化があるのではないかと思います。街に出たときに、点字ブロックやバリアフリー設備に気づくこともあるでしょう。スポーツを通して、「共に生きる」という考え方が社会になじんでいくことを願っています。

衣装製作

かかわる人

デザイナー
いとうとみ
伊藤 聡美 さん

フィギュアスケートでは、音楽を身体で美しく表現します。また、空中でジャンプする激しいスポーツでもあります。見た目のデザインはもちろんのこと、さまざまな動きに耐えられる機能性と耐久性を求められます。素材は必ず伸縮性のある生地を使います。縫製も普通のミシンではなく、伸縮性が保てる特殊なミシンと糸を使います。装飾は氷上に落ちたら減点になりますので、絶対に落ちないように、糸やボンデでしっかりとつけています。装飾をたくさんつけると、衣装が重くなってしまいジャンプが飛べなくなってしまいますので、選手と相談しながら調整を重ねます。見た目の華やかさと機能性、2つのバランスを意識して製作しています。

2018年、平昌オリンピックで活躍した羽生結弦選手と宇野昌磨選手の衣装は伊藤さんが手がけたものです。

羽生選手の衣装
平安時代の衣装(狩衣)をイメージしています。素材からデザインまで、羽生選手の要望です。

宇野選手の衣装
星空を想像させる青と金のデザインです。衣装で、音楽の世界をより強調させています。

美しい衣装は、激しい動きに適した布選びやぬい方が工夫されているんだね。

教科書の特徴	
内容の選択・ 扱い・系統性	<ul style="list-style-type: none"> 各題材とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な内容の学習へと系統的に展開され、児童の思考の流れにそって、教科の特徴が無理なく具体化されている。
内容の組織・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 各学年のテーマのもと、ストーリー性を考慮した題材配列がなされ、見通しや目標をもって学習できる。 題材の組み換えもしやすく、地域や学校事情等に適合した使い方ができる。 家庭生活や家族の題材が各学年の最初にあり、いずれも生活を見つめ直すことから学習を始めることができる。 衣食住の題材は易から難へと、さらに季節等を考慮して配列され、最終題材には他者との共生につながる題材が配置されている。 調理実習を早期に設定して興味づけを図り、学校行事や総合的な学習との関連が図れるように、ごはんやみそ汁が5学年に配置されている。 実習と座学の内容は、いずれも分かりやすく工夫して配分されていて、組織及び分量はきわめて適切である。
主体的な学習への 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 各題材は「学習のめあて」で始まり、課題解決型学習を通して、最後には「ふり返ろう・生かそう」で家庭実践につなげるように工夫され、学習過程では「できたかな」チェックなども取り入れ、児童が主体的に無理なく学習を進めるためのいろいろな配慮がされている。 導入時や学習過程で「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」等の課題が適切に配置されている。 課題解決の手がかりとなる例示や写真・図表・イラスト等が、過不足なく適切に記載されている。 分かりやすい各種のマーク（p.5 参照）が設定され、さらに、児童に親しみやすいキャラクターが学習案内をしたり、つまずきやすい箇所では注意を喚起したりするなど、児童が課題意識をもって主体的に学習するための支援が適切になされている。 各学期末の「チャレンジコーナー」は、長期休暇を利用した家庭実践への主体的な取り組みに向けた題材として適切である。
安全・防災教育への 対応	<ul style="list-style-type: none"> 家庭科での安全・防災について、基本的事項が、巻頭の頁にまとめられている。 作業上の事故防止や安全・防災教育についての細かい配慮がいきとどいている。
食育への対応	<ul style="list-style-type: none"> 食育に関するページには「食育マーク」が付され、記述内容は知識・技能・心情面いずれもよく工夫されている。 五大栄養素など、食品のはたらきと栄養に関する内容は、本文・イラストいずれも的確な記述で分かりやすい。 「生活時間をマネジメント」から「いためてつくろう」は、生活時間の工夫と朝食を関連づけ、生活を総合的に捉えた望ましい題材であり、自らの生活習慣を見直して食生活を改善するなど、健康に過ごすための実践的な態度が育てられる。 折り込みの「栄養素のおもなはたらきと食品の分類」は、食に関するどのページにも開いたまま活用できるように工夫されている。 「和食」や「一汁三菜」にもふれられており、地域の食材を取り入れた調理にも対応できるように、郷土食や伝統的な食文化が具体的に示されている（例：雑煮、おせち料理ほか）。 食事のマナーについても取り上げられている。 食物アレルギーについても取り上げられている。

2 対照表

図書構成		学習指導要領	配当時数
ページ	題材名		
表2	これまでの学習を家庭科につなげよう	A(1)	1
できることを増やしていこう			
8	1 家族の生活再発見	A(2)	1
10	2 クッキングはじめの一歩	B(2) C(2)	7
20	3 ソーイングはじめの一歩	B(4)(5) C(2)	8
28	4 整理・整とんで快適に	B(6) C(2)	4
34	5 できるよ、家庭の仕事	A(2) C(2)	2
38	6 ミシンでソーイング	B(5)	10
48	7 食べて元気に	B(1)(2)(3)	10
58	8 生活を支えるお金と物	C(1)	5
64	9 暖かく快適に過ごす着方	B(4) C(2)	3
68	10 暖かく快適に過ごす住まい方	B(6) C(2)	4
72	11 いっしょに ほっとタイム	A(1)(3)	3
76	生活の課題と実践	A(4)	4
工夫して生活に生かそう			
80	1 生活時間をマネジメント	A(2)	2
84	2 できることを増やしてクッキング	B(1)(2)	7
90	3 クリーン大作戦	B(6) C(2)	5
94	4 すずしく快適に過ごす住まい方	B(6) C(2)	3
98	5 すずしく快適に過ごす着方と手入れ	B(4) C(2)	5
104	6 生活を豊かにソーイング	B(4)(5)	10
112	7 こんだてを工夫して	B(1)(2)(3)	11
120	8 共に生きる地域での生活	A(3)	8
124	9 持続可能な社会を生きる	C(1)(2)	1
126	2年間の学習をふり返って、中学校の学習に生かそう		1

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-41	小学校	家庭	家庭	第5・6学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
9 開隆堂	家庭502	わたしたちの家庭科 5・6		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
117	目玉焼き	1	B(2)ア(ウ)	0.25
117	ラトウイユ	1	B(2)ア(ウ)	0.25
合 計				0.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容